



東京大学ヒューマニティーズセンター 第27回オープンセミナー

明治期新聞・雑誌の口絵・挿絵を考える

- ▶ 日時：2020年10月30日（金）17:30 - 19:30（オンライン開催）
- ▶ 申込み：10月27日（火）締切で、下記URLよりお申込みください。

報告者：出口智之（総合文化研究科・准教授）

事前登録制

<https://hmc.u-tokyo.ac.jp/ja/open-seminar/2020/study-relationship-novels-illustrations-magazines-meiji-period/>

【概要】

明治20年代から30年代は、近代出版が隆盛を迎え、現代につながる出版文化の原型が形作られた時期でした。そのコンテンツの中心はもちろん活字によるテキストでしたが、同時に口絵・挿絵といったイラストレーションにも大きな変革が起ったことは見逃せません。明治初期から10年代までの、江戸を引継いだ挿絵文化とは異なり、多様な印刷技術の導入、洋画家や写真の起用、文学作品との新しい関わりかたの模索など、様々な試みが積極的に行われ、新しい近代口絵・挿絵が開花しました。その諸相をご紹介しつつ、明治期における口絵と挿絵の問題を広く考えてみたいと思います。



ヒューマニティーズセンター
Humanities Center

問合先：

東京大学ヒューマニティーズセンター事務局

Tel: 03-5841-2654

E-mail: humanitiescenter.utokyo@gmail.com

URL: <http://hmc.u-tokyo.ac.jp/ja/>